

特設女性の地位向上のための行政官セミナー実施要領

000
214
KIC
BRARY

③

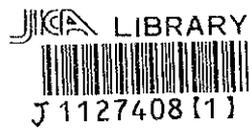
平成6年度

(第4回)

(特設)

女性の地位向上のための行政官セミナー

実施要領



平成6年6月

国際協力事業団
九州国際センター

目 次

1. コー ス 名 等	1
2. コー ス の 目 的 ・ 経 緯	1
3. 到 達 目 標	2
4. 研 修 項 目 ・ 研 修 内 容	2
5. 研 修 員 参 加 資 格 要 件	2
6. 研 修 員 選 考 の 経 緯	2
7. 研 修 実 施 体 制 及 び 運 営	3
8. 研 修 施 設 ・ 宿 泊 施 設	3
9. 研 修 付 帯 プ ロ グ ラ ム	4
10. 研 修 の 評 価	4
11. 国 別 研 修 員 参 加 実 績 表	5
付-1 研 修 カ リ キ ュ ラ ム	6
付-2 研 修 日 程 表	8



1127408 [1]

1. コース名等

(1) コース名

女性の地位向上のための行政官セミナー

Seminar on Improvement of the Status of Women for Government Officers

(2) 研修期間

平成6年6月27日（月）～平成6年7月24日（日）

(3) 定員

8名（実数9名）

2. コースの目的・経緯

(1) 目的

本セミナーは、開発途上国において、女性の地位向上のために、「開発と女性」の視点にたった総合的観点から、各種の女性施策を推進することのできる行政官を育成することを目的とするものである。

(2) 経緯

世界的に、女性問題に対する意識の高まりがみられるものの、依然として女性は男性に比べ、社会の各分野において不利益な状況に置かれている。特に、開発途上国では、これまで、女性の地位向上よりも、国の開発が優先されてきたため、社会・経済開発に伴って、逆に女性の地位が低下するケースすら見られる。

こうした女性問題を解決するためには、国及び地方自治体が手を携えて取り組んでいかなければならない。その取り組みでは、教育、雇用、保健衛生など様々な行政分野を関連させながら女性問題を取り扱うことができるような行政組織を整備し、そのうえで、女性の社会福祉向上のための体系的なプログラムを作成して、総合的な観点から女性のための施策を展開する必要がある。また、この施策を推進する際には、女性問題を取り扱う NGO などとも連携を図ることが大切であり、民間団体との情報ネットワーク作りも欠かせない。

そこで、開発途上国において、こうした総合的な視点から女性施策を進めるための人材の育成、ノウ・ハウの充実等をめざして、本セミナーを実施するものである。

3. 到達目標

総合的な観点から女性施策を推進するのに必要な基本的知識及び技術を習得させるとともに、女性行政のマネジメント能力を養成し、自国において女性問題解決のための施策を合理的かつ効果的に実施できるようにする。

4. 研修項目・研修内容

研修カリキュラム（付-1）、研修日程表（付-2）参照

5. 研修員参加資格要件

当該コースに係わる General Information (G.I) に記載の応募条件

- イ. 自国政府から推薦された者
- ロ. 女性の地位向上のための施策に関する企画・立案に、現に係わっている行政官
- ハ. 英語を話す、書く能力が十分である者
- ニ. 心身共に健康である者

6. 研修員選考の経緯

(1) 割 当 国

バングラデシュ、	ブラジル、	インドネシア、	ケニア、
マレーシア、	パキスタン、	パプア・ニューギニア、	フィリピン、
スリ・ランカ、	タ イ		

合計10ヶ国

(2) 要 請 国 (人数)

バングラデシュ(2)、	ブラジル(1)、	インドネシア(1)、
マレーシア(2)、	パキスタン(11)、	パプア・ニューギニア(1)、
フィリピン(1)、	スリ・ランカ(3)、	タ イ(2)

合計9ヶ国/24名

(3) 受 入 国 (人数)

バングラデシュ(1)、	ブラジル(1)、	インドネシア(1)、
マレーシア(1)、	パキスタン(1)、	パプア・ニューギニア(1)、

スリ・ランカ(1)、

タイ(1)、

フィリピン(1)

合計 9ヶ国/9名

7. 研修実施体制及び運営

(1) 研修実施団体

国際協力事業団 (JICA) 九州国際センター

〒805 北九州市八幡東区平野2丁目2番1号

TEL 093-671-6311

FAX 093-671-0979

(2) 研修委託先

(財) アジア女性交流・研究フォーラム

〒802 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30 北九州国際会議場 8F

TEL 093-551-1220

FAX 093-551-7535

(3) コースリーダー

(財) アジア女性交流・研究フォーラム

交流課長 石田 謙悟

8. 研修施設・宿泊施設

(1) 研修施設

イ. 国際協力事業団 九州国際センター

〒805 北九州市八幡東区平野2丁目2番1号

TEL 093-671-6311

FAX 093-671-0979

ロ. 国際村交流センター

〒805 北九州市八幡東区平野1丁目1番1号

TEL 093-661-8866

FAX 093-662-6622

(2) 宿 泊 施 設

国際協力事業団 九州国際センター

〒805 北九州市八幡東区平野2丁目2番1号

TEL 093-671-6311

FAX 093-671-0979

9. 研修付帯プログラム

ブリーフィング等諸手続	平成6年6月28日～7月1日
北九州市内案内	平成6年6月29日
開 講 式	平成6年7月1日
研 修 旅 行	平成6年7月3日～7月6日
閉 講 式	平成6年7月22日

10. 研修の評価

所定の Questionnaire for Future Programmes を提出せしめると共に、研修到達目標の達成並びにセミナー全体の成果について感想、提案を求めるための評価会を行う。

11. 国別研修員参加実績表

国 別	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	合 計
アジア地域					
バングラデシュ	2		1	1	4
ブルネイ	1				1
インドネシア	2		1	1	4
マレーシア	1	1	1	1	4
パキスタン	2	1	1	1	5
フィリピン			1	1	2
スリ・ランカ	2	1	1	1	5
タイ	2	1		1	4
オセアニア地域					
パプア・ニューギニア	1	1	1	1	4
アフリカ地域					
ケニア		1	1		2
中南米地域					
ブラジル			1	1	2
計	13	6	9	9	37

第4回「女性の地位向上のための行政官セミナー」研修カリキュラム

研修項目	研修内容	日数		
		講義	視察	討論
女性行政概論	日本における女性行政の現状及び経緯を概括的に講義する。	0.5		
「開発と女性」概論	女性問題の解決にとって、最も重要な視点の一つである「開発と女性」論について講義する。	0.5		
女子労働行政概論	日本における女子労働行政の現状及び経緯を概括的に講義する。	0.5		
婦人教育概論	日本における婦人教育の現状及び経緯を概括的に講義するとともに、婦人教育施設を視察する。	0.5		
女性行政 プランニング論	女性行政を推進するうえで必要となる行政組織の整備、女性の地位向上のための体系的なプログラムの作成など、女性行政のマネージメント能力を養成するための講義をする。	1		
保育対策	女性の社会進出にとって欠かせない保育制度の現状及び経緯を講義するとともに、市内の保育所を視察する。	0.5	0.5	
カントリーレポート 発表	各研修員が自国における女性の地位の現状、並びに女性問題を解決するための行政組織及び各種行政施策の概要などについて発表する。			1
学校教育対策	学校教育制度の現状及び経緯、並びに男女平等意識を育成するための教育施策について、講義するとともに、市内の小学校を視察する。	0.5	0.5	
保健衛生対策	妊婦・乳幼児健康診断（母子健康手帳の交付）など母性保護を中心とした女性のための保健衛生対策の現状及び経緯を講義するとともに、保健所の活動を視察する。	0.5	0.5	

研修項目	研修内容	日数		
		講義	視察	討論
女性団体との意見交換会	女性団体と研修員たちが、女性問題の解決に向けてNGOと行政との協力体制のあり方について意見交換する。			0.5
農村女性の地位向上及び生活改善対策	農村女性の地位向上及び生活改善のための各種施策の現状及び経緯を講義するとともに、農村女性による経済的自立のためのグループ生産活動現場を視察する。	0.5	1	
社会福祉対策	母子福祉対策、障害者福祉対策の現状及び経緯を講義するとともに、市内の関連施設を視察する。	1		
女性と環境	市民、企業、行政が、一体となって公害防止に取り組んできた北九州市では、国連環境計画の「グローバル500」を受賞するなど、その環境保全への取り組みが世界的に評価されているが、こうした公害防止運動を初期の段階から支えてきた女性たちの活動を振り返りながら、女性と環境の関わりについて講義する。	1		
生活環境対策	生活者の立場としての女性と深い関わりにある廃棄物問題について、その処理の仕組み及びリサイクルの在り方について講義するとともに、関連施設を視察する。	0.5	0.5	
女子労働者対策	女子の職業訓練対策、女子労働者福祉対策の現状及び経緯を講義するとともに、市内の関連施設及び企業を視察する。	1.5		
評価会	各研修員が研修を通じて、学んだことを自国でいかに活用できるかを討論する。併せて、セミナー全体について感想、提案を求める。			0.5

第4回 「女性の地位向上のための行政官セミナー」研修日程表

No.1

月 日	曜	時 間	研 修 科 目	研修実施場所	研修方法	研 修 担 当 機 関	講 師
6 27	月	—	(米 日)	—	—	—	—
28	火	午 前・午 後	(ブリーフィング)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
29	水	午 前 9:30~12:00	(ブリーフィング)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
		午 後 13:00~17:10	(バスツアー)	北九州市内	—	九州国際センター	—
30	木	午 前 9:45~12:00	(オリエンテーション)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
		午 後 13:00~16:45	(オリエンテーション)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
7 1	金	午 前 9:45~12:00	(オリエンテーション)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
		午 後 13:00~17:00	(オリエンテーション)	九州国際センター	—	九州国際センター	—
		17:30~18:00	開 講 式	九州国際センター	—	九州国際センター	—
2	土	休 日	—	—	—	—	—
3	日	午 前・午 後	研修旅行	(東京へ移動)	—	アジア女性交流・研究フォーラム	—
4	月	午 前 9:00~12:00	女性行政概論 (研修旅行)	国際協力総合研修所	講 義	内閣総理大臣官房内政審議室(婦人問題担当室)	参事官補 中村 衛子
		午 後 13:00~16:00	「開発と女性」概論 (研修旅行)	国際協力総合研修所	講 義	国際協力事業団国際協力総合研修所	国際協力専門員 田中 由美子
5	火	午 前 9:00~12:00	女子労働行政概論 (研修旅行)	国際協力総合研修所	講 義	労働省婦人局婦人政策課	企画官 村木 厚子
		午 後 —	研修旅行	(国立婦人教育会館へ移動)	—	—	—
6	水	午 前 9:00~12:00	婦人教育概論 (研修旅行)	国立婦人教育会館	講義・見学	国立婦人教育会館事業課	課長 瀬田 智恵子
		午 後 —	研修旅行	(北九州市へ移動)	—	アジア女性交流・研究フォーラム	—
7	木	午 前 9:00~12:00	女性行政プランニング論	九州国際センター	講 義	北九州市市民局女性行政推進部	部長 三 鷗 佳子
		午 後 13:00~16:00					
8	金	午 前 9:00~12:00	保育対策	九州国際センター	講 義	北九州市民生局保育課	主幹 山元 照子
		午 後 13:00~16:00		光沢寺保育園	見 学		
9	土	休 日	—	—	—	—	—
10	日	休 日	—	—	—	—	—
11	月	午 前 9:00~12:00	学校教育対策	九州国際センター	講 義	北九州市教育委員会指導第一課	指導主事 田中 幸子
		午 後 13:00~16:00		曾根東小学校	見 学		

月 日	曜	時 間	研 修 科 目	研 修 実 施 場 所	研 修 方 法	研 修 担 当 機 関	講 師	
7 12	火	午 前 10:00~12:00	カントリーレポート発表	国際村交流センター	討 論	アジア女性交流・研究フォーラム	—————	
		午 後 13:00~16:00						
13	水	午 前 9:00~12:00	保健衛生対策	九州国際センター	講 義	北九州市保健局保健予防課	主 幹 吉 本 勝 彦 主 幹 古 賀 靖 子 主 査 生 田 カツエ 主 査 島 田 直 子	
		午 後 13:00~16:00		小倉北保健福祉センター 門司保健福祉センター門司保健所	見 学			
14	木	午 前 9:00~12:00	社会福祉対策Ⅰ	北九州市立総合療育センター	講義・見学	北九州市立総合療育センター	所 長 高 松 鶴 吉	
		午 後 13:00~16:00	農村女性の地位向上及び生活改善対策Ⅰ	九州国際センター	講 義	アジア女性交流・研究フォーラム	主席研究員 篠 崎 正 美	
15	金	午 前 9:00~12:00	農村女性の地位向上及び生活改善対策Ⅱ	福岡県朝倉郡朝倉町	見 学	アジア女性交流・研究フォーラム 福岡県農政部農業技術課	主席研究員 篠 崎 正 美	
		午 後 13:00~16:00						
16	土	休 日	—————	—————	—————	—————	—————	
17	日	休 日	—————	—————	—————	—————	—————	
18	月	午 前 9:00~12:00	女性団体との意見交換会	九州国際センター	討 論	アジア女性交流・研究フォーラム	主任研究員 織 田 由 紀 子	
		午 後 13:00~16:00	社会福祉対策Ⅱ	母子福祉センター	講義・見学	北九州市民生局児童家庭課	課 長 藤 延 憲 幸	
19	火	午 前 9:00~12:00	女性と環境Ⅰ	九州国際センター	講 義	北九州市環境局環境科学研究所	アクア研究センター所長 篠 原 亮 太	
		午 後 13:00~17:00	女性と環境Ⅱ	九州国際センター	講 義	—————	ノンフィクション作家 林 えい だ い	
20	水	午 前 9:00~12:00	生活環境対策	九州国際センター	講 義	北九州市環境局資源化推進課	課 長 羽 瀬 川 順 子	
		午 後 13:00~16:00		日明工場 〔ごみ焼却工場・資源化センター〕	見 学			
21	木	午 前 9:00~12:00	女子労働者対策Ⅰ	東部勤労婦人センター	講義・見学	東部勤労婦人センター	館 長 西 岡 真 弓	
		午 後 13:00~16:00	女子労働者対策Ⅱ	東陶機器(株)	講義・見学	東陶機器(株)総務部総務課	—————	
22	金	午 前 9:00~12:00	女子労働者対策Ⅲ	北九州職業能力開発短期大学校	講義・見学	北九州職業能力開発短期大学校	開発援助課長 福 嶋 二 彦	
		午 後	14:00~17:00	評 価 会	九州国際センター	討 論	アジア女性交流・研究フォーラム	—————
			17:30~18:00	閉 講 式	九州国際センター	—————	九州国際センター	—————
23	土	—————	(帰 国)	—————	—————	—————	—————	
24	日	—————	(帰 国)	—————	—————	—————	—————	



国際協力事業団九州国際センター

北九州市八幡東区平野 2 - 2 - 1

TEL (093) 671 - 6311 (代)

